

# 秋田市の貸借対照表(バランスシート)

平成18年3月31日現在

**借方** … 昭和44年以降、市がつくったさまざまな資産

**貸方** … 昭和44年以降、資産をつくるために市が調達した資金

**資産合計 4,076億9,764万3千円**

**負債・正味資産合計 4,076億9,764万3千円**

**資産の部** …将来の世代に残る財産や権利など

**負債の部**

**1 有形固定資産** …長期間にわたって行政サービスを提供するために使用される土地、建物、機械などの資産

**合計 1,699億436万円**

…今後支払いや返済が必要となる、将来の世代が負担する借金

(1)総務費	113億1,148万9千円	◀ 市庁舎など
(2)民生費	89億3,204万3千円	◀ 保育所、デイサービスセンターなど
(3)衛生費	309億4,193万5千円	◀ 保健所、総合環境センターなど
(4)労働費	33億8,110万1千円	◀ 労働者福祉施設など
(5)農林水産業費	100億 116万7千円	◀ 農林道など
(6)商工費	63億 792万1千円	◀ 観光施設など
(7)土木費	1,745億1,634万9千円	◀ 道路、公園、市営住宅など
(8)消防費	52億9,432万8千円	◀ 消防庁舎、特殊車両など
(9)教育費	1,097億9,166万3千円	◀ 小中学校、公民館など
(10)その他	4,856万9千円	

**1 固定負債**

(1)地方債	1,437億6,514万9千円
…市の借金(市債)の残高のうち翌々年度以降に返済が必要となる元金の金額	
(2)債務負担行為	0円
物件の購入等 0円	
債務保証又は損失補償 0円	
(3)退職給与引当金	134億2,538万8千円

…年度末に在職する全職員が普通退職したと想定した場合の退職金の推計値。支払いは先ですが、それぞれの職員が年度末までに提供した労働(勤続年数)を負債として扱います。

**固定負債 合計 1,571億9,053万7千円**

**2 投資等**

(1)投資及び出資金	130億2,280万4千円	…各種団体への出資金など
(2)貸付金	15億4,969万6千円	…返済期限が来ていない貸付金
(3)基金	191億5,174万2千円	
特定目的基金	156億4,774万2千円	…庁舎建設基金など、特定の目的のために資金を積み立てているもの
土地開発基金	35億円	
…円滑な事業執行のため、公用・公共用の土地を先行して取得するための基金		
定額運用基金	400万円	

**2 流動負債**

(1)翌年度償還予定額	127億1,382万3千円
…市債の借入残高のうち翌年度に返済が必要となる元金の金額	
(2)翌年度繰上充用金	0円

**流動負債 合計 127億1,382万3千円**

**投資 合計 337億2,424万2千円**

**3 流動資産** …1年以内に現金化することが可能な資産など

(1)現金・預金	91億3,786万1千円	
財政調整基金	32億6,087万6千円	
減債基金	39億7,462万2千円	…市債の返済のための積立金
歳計現金	19億 236万3千円	
(2)未収金	43億 897万5千円	
地方税	28億5,934万2千円	
その他	14億4,963万3千円	

**正味資産の部**

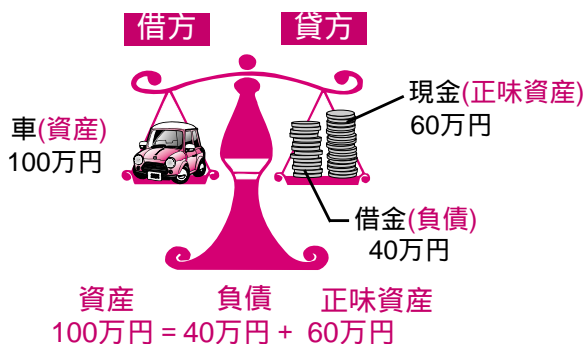
**合計 2,377億9,328万3千円**

…資産形成のため調達した資金で返済の必要がない金額

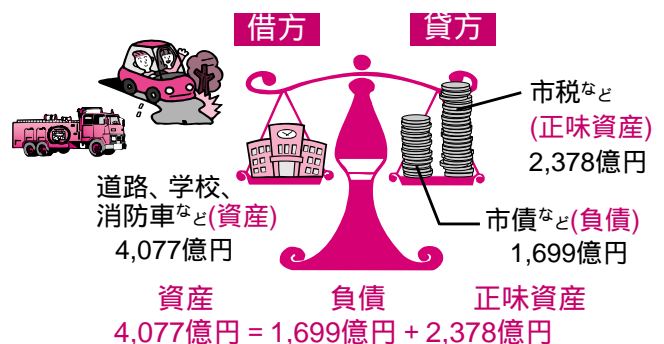
<b>1 国庫支出金</b>	694億 748万9千円
<b>2 県支出金</b>	84億 5,954万9千円
<b>3 一般財源等</b>	1,599億 2,624万5千円

**流動資産 合計 134億4,683万6千円**

## 一般家庭の場合



## 秋田市の場合





## 公営企業

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」と表しています。公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

なお、65年間続いた市営バス事業は、すべての路線を秋田中央交通(株)へ移管し、平成18年3月で廃止となりました。

上下水道局も公営企業会計を採用しており、決算は昨年の広報あきた12月1日号でお知らせしています。

医療に対する市民のニーズに応えるため、高度医療機器の整備と診療体制の充実に努めました。

収益的支	収入	89億4,275万4千円
	支出	92億1,039万7千円
	差引	- 2億6,764万3千円
累積欠損金		31億5,329万8千円
資本的収支	収入	5億7,393万6千円
	支出	9億8,279万3千円
	差引	- 4億 885万7千円
	補てん財源	損益勘定留保資金など 4億 885万7千円

資本的収支には消費税を含みます

交通局の土地や建物などの資産は、すべて管財課や道路維持課などへ引き継ぎしました。

また、累積欠損金は年度ごとの収支決算状況の合計であり、損失分は、翌年度に一般会計からの補助金で補てんしてきましたので、実質的な債務はありません。

収益的支	収入	12億7,799万4千円
	支出	7億1,697万1千円
	差引	5億6,102万3千円12
累積欠損金		億9,875万2千円

### 用語解説

**収益的収支**...その年度の企業の経営活動で発生した収益(収入)と、その収入を得るためにかかった費用(支出)のこと。収入はサービス提供の対価としての料金収入が主体で、支出はサービス提供に要する人件費、光熱水費、減価償却費などです。

**資本的収支**...支出には、住民に対するサービスの提供を維持したり、将来の利用増に対応し経営規模を拡大したりする建設改良費や、企業債(借入金)の元金償還金など、収入には、資産の取得などに要する資金である企業債(借入金)や国からの補助金などを計上します。

**損益勘定留保資金**...収益的収支の支出に計上される減価償却費など現金支出を伴わない費用は、企業内部に留保された形の資金となります。これを費用化して、資本的収支の資金不足に充当する補てん財源の一部にすることができます。

# 秋田市の財産と借金をお知らせします



2～3ページの決算報告は、1年間の会計年度に区切って、お金の出入りを記録したものです。その方式では、長期にわたって私たちの秋田市に蓄積された資産や負債(借金)がどのくらいあるのかは、わかりません。

そこで、秋田市が現在、道路や公園、教育施設、ごみ処理施設、市営住宅、保育所、消防施設などの財産をどのくらい持っている、同時に将来支払わなければならない負債がどのくらいあるかを示した資料が、右の貸借対照表(バランスシート)です。

ここには、市民のみなさんにサービスを提供するための秋田市の「資産」がどれくらいあり、またその資産についてこれまでに支払いの済んでいるお金「正味資産」と、これから支払わなければならないお金「負債」がどれくらいあるのが示されています。

なお、地方公共団体の活動目的は住民福祉の増進であることから、「利益」という概念を持っていません。したがって、この貸借対照表は「収益性」よりも「安全性」や世代間負担の「公平性」などを明らかにする視点に立って作成されています(総務省方式)。

## 貸借対照表ってなに？

例えば、一般家庭で、現金と銀行から借りたお金で車を買ったとします。その結果、**資産(車)**と同時に、銀行から借りた分の**負債(借金)**、現金で支払った分の**正味資産**が発生します。

資産・負債・正味資産の3つの状態を表したのが貸借対照表です。左側(借方)と右側(貸方)は、必ず同じ金額になるので、バランスシートと呼ばれます。